

「江東」水彩都市づくりフェスタ

3/27(土)

運河に面した開放的な空間を会場に開催

新船着場を活用して ドラゴンボート試乗



連絡船運航



▲ドラゴンボート

豊洲運河の新船着場の完成を記念し、運河沿いのキャナルウォークを中心にイベントを行います。新しい船着場から発着するお江戸深川さくらまつり会場への連絡船の運航や、ドラゴンボートの体験乗船、模擬店の出店など、地域が一体となって盛り上げます。

時 3月27日(土)午前11時～午後3時

場 豊洲運河船着場前(豊洲3-7)、キヤナルウォークほか

費 無料

川沿いの桜を船上から堪能

3/20(土)～4/11(日)



区内桜スポット6面に掲載

お江戸深川さくらまつり

日時	内容
3/20(土)～4/4(日)の土・日曜	花見船(ボート) 黒船橋周辺周遊 黒船橋～高橋間を動力船で周遊
	模擬店・オープンカフェ メーン会場の石島橋でお汁粉・甘酒・まんじゅうなどを販売
	花見船(和船) 黒船橋～東富橋間の周遊・新内流し
	東京海洋大学への連絡船 東京海洋大学百周年記念資料館(越中島2-1-6)を見学。黒船橋～海洋大学間を往復 ※3/27(土)を除く
期間中毎日16:00～21:00	桜のライトアップ メイン会場の桜並木を美しくライトアップ
	提灯によるライトアップ 大横川岸に提灯を並べて、まつりを盛り上げます

川沿いの桜を船上から楽しめる乗船体験や、夜桜のライトアップなど、深川の桜を楽しむイベントが盛りだくさんです。

時 3月20日(土)～4月11日(日) ※花見船・東京海洋大学連絡船の運航は4月4日(日)まで

凡例 時日時 場所 集合 対象 定員 費用 内容 講師 締切日 申込 問合先 HP ホームページ Eメール



豊洲運河の新船着場の完成を記念し、運河沿いのキャナルウォークを中心にイベントを行います。新しい船着場から発着するお江戸深川さくらまつり会場への連絡船の運航や、ドラゴンボートの体験乗船、模擬店の出店など、地域が一体となって盛り上げます。

内 下表のとおり ※雨天または強風の場合中止

申 当日直接会場へ ※連絡船・ドラゴンボートは下表参照

主催 「江東」水彩都市づくりフェスタ実行委員会

問 まちづくり推進課

☎(3647)9719

【メイン会場】大横川(黒船橋～東富橋間) **費** 一部有料

内 上表のとおり ※雨天中止となるイベントもあり

主催 深川観光協会 共催 江東区・深川仲通り商店街振興組合・江東区の水辺に親しむ会

問 深川観光協会

☎(3643)0114

【横十間川の和船体験は休船】横十間川親水公園で水曜に行っている和船乗船体験は、お江戸深川さくらまつりで和船を使用するため、3月24日(水)・31日(水)を休止します。

イベント名	内容
船着場オープニングセレモニー	○関係者あいさつ・テープカット ○小学生の楽器演奏等や東京海洋大学生の手旗信号による出港式 時 11:00～ 入 なたでも(観覧自由)
お江戸深川さくらまつり会場への連絡船運航	2艘の船で運航します 時 黒船橋乗船場11:30発、豊洲運河船着場12:10発、以後計5往復予定 乗船場所 豊洲運河船着場、黒船橋乗船場 入 片道のみ乗船で、各回10人または20人(計160人)先着順 申 当日直接各乗船場所へ
ドラゴンボート体験乗船	みんなで力を合わせてボートを漕ぎます(所要時間20分程度) 時 13:00～ 場 豊洲運河船着場 入 各回18人、延べ6回運航予定(先着順) 申 当日直接会場へ
セーリング部パフォーマンス	江東区立小中学校セーリング部「チーム江東」によるデモンストラクション 時 12:10～12:50
模擬店	地元商店街や大学生による飲食品等の販売など

中身の見える 清掃車 ごみスケ 出動

名付け親 六砂小4年生を相手に初授業

区内小学4～6年生を対象に募集した、中身の見える清掃車(カ)が、「ごみスケ」に決定しました。

「ごみスケ」は、第六砂町小4年2組が応募した愛称で、「スケ」には透明を表す「スケルトン」の意味が込められています。2月25日に、同小学校で4年生を対象に表彰式と環境学習が行われ、「ごみスケ」と初対面を果たした子ども達は、清掃車の仕組みや、ごみの収集・排出の様子を学びました。

「初めてこんなに近くで見た」「作業する人の安全を守る装置を初めて知った」など、子ども達の興味を誘った「ごみスケ」。今後、小学校で行われる環境学習のほか、さまざまなイベントで活躍する予定です。

問 清掃事務所

☎(3644)6216

内閣府「心の輪を広げる体験作文」 高校・一般の部 入賞 大南雅和さん

高校・一般の部605編目の応募作品の中から見事入賞を果たした大南さんは、通勤寮(障害のある方が自立を目指す)に一定期間生活する場所)に住みながら作業所に通っています。現在では寮や作業所の同僚・支援員の方などに囲まれ、穏やかな毎日を過しています。

「作文を書くために自分の経験を思い出すのは辛かったけれど、自身の気持ちの整理をつけたかったし、他の人にも知ってほしかったので、入賞したことは本当にうれしい」と語る大南さん。将来は、体の不自由な方たちの役に立てる、人に喜ばれるような仕事をしたいそうです。

好きな飛行機に乗ってオーストラリアに行きたいという大南さん

「ごみスケ」は、第六砂町小4年2組が応募した愛称で、「スケ」には透明を表す「スケルトン」の意味が込められています。

2月25日に、同小学校で4年生を対象に表彰式と環境学習が行われ、「ごみスケ」と初対面を果たした子ども達は、清掃車の仕組みや、ごみの収集・排出の様子を学びました。

「初めてこんなに近くで見た」「作業する人の安全を守る装置を初めて知った」など、子ども達の興味を誘った「ごみスケ」。今後、小学校で行われる環境学習のほか、さまざまなイベントで活躍する予定です。

問 清掃事務所

☎(3644)6216